図書館へ行こう！

いびがわ新着図書紹介

一般書

河畔に標なく　船戸与一　集英社

ミャンマー山岳地帯で２００万ドルをのせたヘリが墜落。この金をめぐって密林を舞台に繰り広げられる迫力の冒険巨編

明日はきっとうまくいく　ファイーザ・ゲンヌ　早川書房

母親と二人で移民した高校生には友達もいないし、おしゃれをするお金もない。でもきっといいことがあると信じて頑張る十九歳の女性作家のデビュー作。

宇宙で一番優しい惑星　戸梶圭太　中央公論社

ヒストリアン１・２　エイザベス・コストヴァ　日本放送出版協会

いつもの朝に　今邑　彩　集英社

名探偵はどこにいる　北村　薫　講談社

本を旅する　出久根達郎　河出書房新社

人生を歩け　町田　康　毎日新聞社

天職の見つけ方　浜口直太　講談社

もう一度働く　小島貴子　筑摩書房

金持ち父さんの学校では教えてくれないお金の秘密　ロバート・キヨサキ　筑摩書房

本の寄贈

（有）揖斐川清掃　宮本義生様より図書館へ多額のご寄付をいただきました。早速、次の本を購入いたしましたので皆さんのご利用をお待ちしています。

- ○ **水の事典**
- ○ **紙の事典**
- ○ **韓国伝統文化事典**
- ○ **山崎豊子全集　二十三巻**
- ○ **司馬遼太郎短編集　全六十八巻**
- ○ **宮本輝全集　全十四巻**
- ○ **遠藤周作文学全集　全十五巻**
- ○ **大江健三郎　全十巻**

その他　多数

たにぐみ新着図書紹介

一般書

地に埋もれて　あさのあつこ　講談社

制服捜査　佐々木譲　新潮社

星に願いを　庄野潤三　講談社

異端の大義上下　楡　周平　毎日新聞社

血と聖　坂東真砂子　角川書店

野生の条件　森村誠一　角川書店

児童書

きっと天使だよ　ミーノ・ミラーニ作　関口英子訳

第二次世界大戦で孤児となったイタリア人の男がアフリカで出会ったのは、かつての自分とおなじように、戦争ですべてを失った男の子だった。アフリカを舞台に、戦争のむごさと人間愛をえがいた奇跡の物語。

十ぴきのかえるのピクニック

十ぴきの、かえるはうきうきのはらへピクニックにでかけました。「はるだね！」「はるだね！」「あっちもこっちもはるいっぱい！」

フクロウの大研究　国松俊英　ＰＨＰ

オホーツクの十二ケ月　竹田津実　福音館

おとなりさん　きしらまゆこ　ＢＬ出版

「おばば」紙芝居展示会

四月二十九日（土）～五月十三日（土）まで

揖斐川図書館一階ロビー

香田寿男さん　制作

揖斐祭りの神輿つりにはかかせない歌「おばば」は揖斐川町の大切な財産です。町内の人形劇同好会「パクパク」は、この「おばば」のお話を紙芝居にして子どもたちに読み聞かせしています。多くの方にこの「おばば」のお話を知ってもらえるよう、揖斐祭り期間中作品を展示します。絵とお話両方をお楽しみください。

◆「ＢＯＯＫスタート」ボランティア

町では三、四ヶ月児とその保護者を対象に絵本を手渡し、よみきかせを実践してもらう運動を進めています。

毎月第二木曜日午後一時半～三時迄、ご協力願える方を募集します。

※　申し込み、問い合わせは揖斐川図書館まで（２２－０２１９）

五月のおはなしの会「まど」はお休みします

博物館・歴史資料館だより

徳山民俗資料収蔵庫

徳山民俗資料収蔵庫は、道の駅「星のふる里ふじはし」構内の「星のふる里ふれ愛広場」を入った奥のホール右側にあります。鉄筋コンクリート造二階建で、延床面積は一二〇〇㎡の規模を持っています。

徳山民俗資料収蔵庫

庫内は空調設備がない代わりに、内壁と外壁の間、さらに天井部や床部にも、自然に対流が起きるよう配慮した空間を持っています。この構造で換気させるとともに急激な外気の温度差による影響を防ぐことができるわけです。

湿度は杉材による板壁の吸湿性と除湿機とで管理調節をしています。これらにより、環境へ気配りした省エネ方式となるのが当庫の特色でもあります。

庫内の一階は、国指定重要有形民俗文化財の「徳山の山村生産用具　五、八九〇点」を収納し、一部に役場、小中学校関連資料、雨乞いの信仰資料、縄文期の発掘品などの小展示コーナーを設けています。

展示されている山村生産用具

山村生産用具というといかめしい名称ですが、実は身近な山の生活道具のことで、山村のテーマでの国指定点数としては日本一の数量を示しているのです。

旧徳山村は、原日本の伝統的な生活様式を解き明かすために、大切な地区の一つとして戦前から注目されてきました。したがって収納されている道具には、樹皮を利用した珍しいセイロや穀物の乾燥器具など古い技法をとどめるだけでなく、繊細な美しさをもち、民芸の域に通じる木の籠などもみられます。

また、他地区にない溝つきの俎（マナイタ）や鼓状の枕など、高度な手技と創造力溢れる独自のものまであるのです。この仲間には、周りに自生する草から糸をとり、織り上げて着物にしてきたことや、寒いときの紙漉きも加わってきます。

タテマクラ

一方では、刳（えぐ）りものの大型の鉢類、臼類、筵（むしろ）織り機などの豪放な木どりや、その他の木製品にも見られるさまざまな形に驚かされるばかりです。さらにお講のときご飯を入れて持ち運ぶオコビツには、天明六年（一七八六年）の貴重な墨の跡が残り、信仰行事の古さを物語っています。

岐阜県は東西文化の接点といわれてきましたが、こうした道具を見る限りでは、東日本側に連なっていることが分かってきます。

二階には未指定の道具のほか、役場関連書類、古文書など、村にあったことを証明する各種のものが収納されています。

徳山の学校の看板など

やがて、水を湛えるであろうダムの底に、徳山村は消えていきます。けれども、先人たちの手の跡が汗の跡がこもる道具がいっぱい収蔵庫に保管されているのです。

旧石器時代以来といわれる長い歴史を辿った村の歩みを、これらの道具を通して偲んでいただきたいと祈願しています。

- **・場　所**　揖斐川町東横山一八三－一
- **・開館日**　土・日・祝祭日
- **・開　館**　四月～十月
  午前十時～午後五時
  （入館は午後四時三十分まで）
  十一月～三月
  午前十時～午後四時
  （入館は午後三時三十分まで）
- **・入館料**
  大　人（高校生以上）　三〇〇円
  こども（小・中学生）　一五〇円

揖斐川歴史民俗資料館展示案内

端午の節句にちなむ資料展

◎会期　五月二十八日（日）

◎会場　揖斐川歴史民俗資料館

端午の節句

菖の波と雲の波・・・幼いころよく歌ったことを思い出します。

端午の節句には欠かせない菖蒲は古くから、病や災いを払う香草といわれ、江戸時代には菖蒲を「尚武」にかけて武士の階級の間で武運を願う行事となった。（新日本大歳時記）より

主な展示品

①手染めのこいのぼり（昭和初期）
②武者人形と　甲冑飾り
③端午の節句　座敷幟
④武者絵図

手染めのこいのぼり

古文書解読講座のご案内

◎日時　五月十三日（土）
午後二時～四時まで
◎講師　豊先生
田中　揖斐川歴史民俗資料館研修室
◎会場
講座参加希望の方は揖斐川歴史民俗資料館（電話２２－５３７３）までお申込みください。